

中2音『アレンジの秘密を探ろう』

ねらい：編曲の秘密を探る活動を通して、曲の構成と音の重なり方を理解し、表現を工夫しながら合唱することができる。

曲目：翼をください

準備物：ホワイトボード9枚、マーカーセット、掲示物

1 パートの確認

ソプラノ・アルト・男声パートの音とり確認をする。

2 曲がA B Cの3つの部分に分けてあることを確認する。

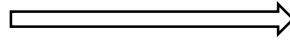
(A…ユニゾン部分、B…2部合唱、C…3部合唱)

・A B Cについてパートの役割を『主旋律』『飾りの旋律』『和音をつくる音』から選ぶ。(個人→パートで確認→ホワイトボードにカードを貼る。)



3 伴奏について(片手、両手、リズムを出す)

それに伴う強弱、曲想について考える。



4 3を踏まえた上で、パートごとに『どのようなことを意識しながらうたうとよいか』について話し合う。



ホワイトボードに記入



前に貼り、パート同士で共有する。



5 意見の中でポイントにしようと思う部分を決め、実践する。



○感想

- ・従来は、教師が歌うポイントを質問して数人の生徒が答えたことを全体で共有して歌う授業。今回、アクティブ・ラーニングの視点を意識して話し合い活動を授業に取り入れた。
- ・遠回りのようだが、効果はある。

○成果

- ・パートごとに話し合いホワイトボードに書くことで、多くの生徒の意見を合唱に取り入れることができた。
- ・ホワイトボードを前に張ることで、合唱のときにもより意識して歌うことができた。
- ・ホワイトボードを前に張ることで、全体的な曲の流れが視覚的に見えて分りやすかった。
- ・自分達の意見だから大切にしておうとする意識が見られた。

○課題

- ・話し合い活動に時間がかかる。⇒歌う時間が減少する。
- ・ホワイトボードに記入するとき、ペンの色を工夫して記入させるとよりよかったのではないか。
- ・話し合い活動では、思いはあるが言葉で適切に表現できていない生徒が見られた。